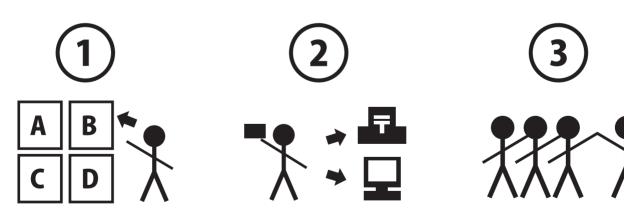


第4期

寄付募集期間 2014年8月1日(金)~9月30日(火)



このカタログの中から応援したい取り組みを選んでください。

同封の郵便振替用紙でゆうちょ 銀行にて寄付をお願いします。 インターネットからも可能です。 賛同者から集まった寄付により 助成を行い取り組みを実行しま す。実施後は成果を報告します。



● 事業指定寄付プログラム「割り勘で夢をかなえよう」とは?

地域には様々な社会課題があります。

子育てや福祉、環境やまちづくりなど、誰もが暮らしの中で、「もっとこうなればいいのに」「この困っている人をなんとかしてあげられないか」と思われることがあるのではないでしょうか。そうした地域の課題、この岡山に起きている課題の解決を、みんなでお金を出し合って実現するのがこの「割り勘で夢をかなえよう」事業指定寄付プログラムです。様々な分野で課題解決に取り組む NPO や市民団体から募集したプロジェクトのアイディア(事業プラン)をこのカタログやインターネット上で公開し、賛同いただける方を募って寄付の形で参加をいただき、プロジェクト(夢)を実現させる仕組みです。地域で解決したい課題を、みんなで寄付の形でお金を出し合い、解決するので「割り勘」と呼んでいます。

今回は1件だけですが、みんなでつくる財団おかやまの審査を通過した割り勘らしいプロジェクトとなっています。カタログをご覧いただき、プロジェクトの内容を読んでいただいて、応援したい!と思うプロジェクトへ寄付での参加をご検討ください。

課題は遠くにだけあるのではなく、この地域、足もとにもあります。このカタログをご覧いただき、寄付参加をいただくことが「なんとかしたい!」と行動するプロジェクトメンバーの意思と行動への大きな後押しとなります。ご参加をお待ちしております。

● 過去に募集したプログラムへご寄付をくださった方々の声(一部)

テレビや新聞でみて、既に知っている取組み(課題)であり、 内容が分かるからこそ、自分も関われると思い、応援させ てもらいました。特に被災地の母子や DV に関することな ど自分が気になっていたことの活動が応援出来てよかった です。(60 代女性) 自分も関心があるけど、なかなか取り組みできていない、子どもの分野へ寄付をしました。事業結果も届くということで、自分のこの事業を支えるという実感があり楽しみにしています。(30代男性)

● 割り勘事業に取り組んで変わったこと (過去の割り勘事例より)

「広域避難親子への心豊かな時間のプレゼント事業」(特定非営利活動法人岡山市子どもセンター)

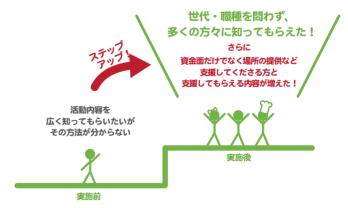
「東日本大震災の影響により岡山へ自主避難されて来ているご家族に少しでも夢や希望、そして、生きる力を持っていただきたい」という思いを込め、同団体が行っている生の舞台鑑賞会へ招待する事業を実施しました。割り勘事業に参加し、FACEBOOK 等の SNS や募金箱、イベントでの PR 活動を行うことで、今まで活動を伝えることができました。

その結果、割り勘事業を通じてこの取り組みを知ったレストラン経営者の方がレストランを交流会の場として提供してくださり、予定していた事業に追加するかたちで、自主避難されて来ているご家族、被災地支援を行っている大学生、実施団体の交流会を開催することができました。

この交流会で避難者の生の声を聴くことができ、今後の支援に活かすことができる良い場となりました。

また、事業終了後に割り勘事業で寄付をしてくださった方に寄付のご報告をしたところ、今後の活動も応援したいと 2回目の寄付をいただくことができました。

広く個人向けに活動を伝えることで世代・職種を問わず多くの方々へ活動の内容と意味を伝えることができ、その結果、継続して寄付をしてくださる方や資金面以外での支援をしてくださる方が増えた事例です。





● ご寄付の方法

寄付の手段は、下記3つの方法になります。



クレジット決済	モーションギャラリーのウェブサイト内から行っていただけます。 (http://motion-gallery.net/mintuku) 「モーションギャラリー みんつく」でご検索ください。
郵便振替	本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、振替用紙がない場合は事務局及び申請団体へ連絡いただき、振替用紙を受け取ってください。または、直接、振込票に下記の情報をご記入ください。 【口座番号】 01320-6-109961 【加入者名】 一般財団法人みんなでつくる財団おかやま 【通信欄】 「メールアドレス」および「応援する事業名と金額」が分かるようにご記入ください。 例)atsushi@mintuku.jp 橋守 3千円
現金	説明会の会場やみんつく財団事務所で受付しております。

● ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄付いただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。 ※モーションギャラリーご利用の場合、サイト内のメール機能にてご連絡いたします。
- 2) 募集期間了後、助成金額が確定(1 か月程度見込み)したのち、領収書及び助成結果通知を送らせていただきます。 ※領収書は、未発行の場合のみ発送させていただきます。 ※モーションギャラリー経由(クレジット)の場合は領収書は発行されません。
- 3) 助成時に、各団体へ寄付者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。 みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

● 過去のプロジェクト実施団体の声(お礼のメッセージ)

「割り勘で夢をかなえよう!」での資金集めは、お一人お一人の顔と想いがより近く感じることが出来るので、普通の助成金とは全く違う感じがします。嬉しい気持ちと共に、こんなに多くの方に応援頂いているということが分かり、もの凄く気が引き締まります。多くの人に納得頂ける結果に繋げられるように、精一杯頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。(第1期提案団体)

地域の課題解決や困っている人を助ける チャレンジを一つずつでも増やしていくために、 あなたの寄付参加を心からお待ちしております。





私たちが普段の生活で使っている"15メートル未満の小さな橋"。この小さな橋は岡山県内だけで30,000橋 もあると言われており、その多くで老朽化が進んでいます。しかし、行政だけではすべてを調査・点検することが難しい状況です。そこで、この状況を改善するために、住民たちで身近なインフラを守ることができる仕組みを築き、地域の安心・安全を守るプロジェクトを実施します。

今、「橋の老朽化」が社会問題となっていることは ご存知でしょうか?

毎朝の通勤・通学など日常生活の中で橋を通っている方は 多いと思います。しかし、橋の安全性について意識することはほとんどないのではないでしょうか。

高度経済成長期に何万という数の橋が建設されており、建設から 50 年以上を迎える橋の割合は、現在の 18%から 10 年後には 43%、20 年後には 67%まで増加すると言われています。橋はきちんとメンテナンスを行えば長い間使用することができますが、メンテナンスが行えていないと崩落の危険性が出てきてしまいます。

私たち TEC.ECO 再生機構では、地域の生活を守り、安心して暮らせる状態の実現をめざし橋守プロジェクトに取り組んでいます。

プロジェクト第 1 弾として、平成 25 年 4 月~6 月に寄付による資金集めを行い「地域をみんなで守ろう!「橋守」サポーター養成モデル事業」を実施しました。

この取り組みでは、地域住民が身近な小さな橋のメンテナンス活動を行う「橋守サポーター制度」を作るために「市民向け簡易橋梁点検マニュアル」「地域のできることチェックリスト」を作成し、モデル事業として橋梁点検イベントを開催しました。これにより、地域住民でもチェックができるという可能性を示すことができました。

また、この活動を新聞やテレビなどの多くのメディアに取り上げていただき、取り組みの重要性と、市民が主体となって地域に必要な仕組みをつくろうとしていることを世の中に知ってもらうことができました。

その報道をきっかけに、現在は、笠岡工業高校と笠岡市と協力し、高校生への橋梁点検授業に取り組んでいます。



TEC.ECO 再生機構メンバー





橋守サポーター制度とは

PJ第2弾では 『橋守サポーター制度』の仕組み化を進めます!

しかし、現時点では、まだ地域での点検を行政が実施する補修・補強に活かすなど情報を流通させる仕組み化ができていません。プロジェクト第 2 弾となる今回は、取り組みの啓発を行うと共に、仕組み化するための課題抽出などの検討を産官学民が連携して検討できる場作りを進めます。これにより、地域の橋を地域で守ることが仕組み化できるように取り組みます。

今回のプロジェクト概要

具体的には、今回啓発および次の STEP への体制づくりのために、下記のことに取り組みます。

1. 啓発のための講演会の開催 (平成27年1月頃)

今までの活動の報告や世間の状況を専門家から伝えることで、関わりたい人、巻き込みしたい人の場作りをします。

2. 行政や大学等を巻き込んだ情報交換会・研究会の開催

仕組み化を進める上での問題を明らかにし、問題解決を するための体制づくりを目的にして、現地での体験会や情 報交換会を開催します。(3回実施予定)

3. 研究会の実施による橋梁点検内容のブラッシュアップ

今まで私たちだけで検討・作成していた「市民向け簡易 橋梁点検マニュアル」「地域のできることチェックリスト」 に情報交換会・研究会ででた課題や対策を反映することで、 ブラッシュアップを行います。



興味を持っていただき、ありがとうございます! 是非、プロジェクトをご支援ください!

私たちのプロジェクトページに興味を持っていただき、本 当にありがとうございます。

このプロジェクトは、「橋守サポーター制度」を一般的な仕組みとするために欠かせないものです。住民たちで身近なインフラを守ることができる仕組みを築き、地域の安心・安全を実現していくとともに、また行政だけでなく、地域に住む一人一人が公益の担い手であるというモデルも示していきたいと思っています。

情報発信や寄付でご支援をお願いします。

[ご寄付のお礼]

1,000円 講演会へのご招待、報告書へのお名前記載

3,000 円 講演会へのご招待、報告書へのお名前記載、 事業実施報告書の送付

5,000 円 講演会へのご招待、報告書へのお名前記載、 事業実施報告書及び橋梁点検チェックリストの送付

10,000 円 講演会へのご招待、報告書へのお名前記載、 事業実施報告書、橋梁点検チェックリスト、 橋梁点検マニュアル、その他資料の送付

[寄付金の使途について]

①講演会の専門家謝金

②情報交換会・研究会、講演会等の準備にかかる人件費

③現地調査に関わる旅費交通費

④講演会、勉強会の会場費

⑤マニュアル、チェックリスト等の印刷費

⑥その他 システム利用料等

【プロジェクト実施団体】

特定非営利活動法人 TEC.ECO 再生機構

■活動内容 :環境再生事業、社会技術の普及啓発事業、

省エネルギー提案事業など

■代表者 : 諏訪部 正

■設立年月日 : 2007 年 11 月 25 日

■ホームページ: http://ww32.tiki.ne.jp/~tec-eco/ 実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブご覧ください。 http://okayama-share.jp/cgi/web/?c=npo-2&pk=16 通常の助成とは違う つながりが生まれる助成事業



「 割り勘で夢をかなえよう! 」 事 業 指 定 助 成 プ ロ グ ラ ム

次回、第5期「割り勘」は 10月に実施団体を募集し 冬に寄付募集予定です!

「うちの団体でも申し込みできるの?」 「もう少し詳しく内容を知りたい」 「今から準備を始めたい」

など、ご相談は随時受付中です! 個別相談も可能ですので まずは一度お問い合わせください!

また、毎月19日は「SHARE会議」と称し、 地域の課題を発信・発見する場を提供しています。 抱えている課題を発信することで いつもとは違った視点で 意見交換をすることができますので 是非こちらもご活用ください。



こんな課題が 岡山にあることを 知ってもらいたい

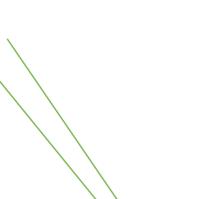
自分たちの活動を もっといろんな人に 知ってもらいたい 地域課題解決に 取り組んでいる活動を 支援したい エントリー・詳細情報は みんつく WEB サイトから! MINTUKU.JP/SHARE

みんつく財団

検索

公益財団法人みんなでつくる財団おかやまでは、「SHARE会議」と称し、毎月 19 日に地域の課題を発信・発見する場を提供しています。みんなに知ってもらいたい地域課題を発信・発見することで関わる人を増やし課題解決を目指します。是非、ご参加ください。





、、公益財団法人





みんなでつくる財団おかやまは 2014年8月1日に「公益財団法人」へ生まれ変わります

また

9月28日、みんつく2周年に向けて 寄付キャンペーン実施中

詳しい内容は事務局までお問い合わせください

あなたの基金をつくって おかやま孝行する

みんつくを みんなで応援する

9月28日までにお申し込みいただいた基金は 今年度中に助成実施!

> 個人でも少額から基金を設立できる 「みんなの貯金箱をもとう!」冠基金事業 という仕組みを提供しています。

この仕組みを活用して、 自分の思いを託した基金を設立し、 自分なりのおかやま孝行をしませんか?

詳しい情報はこちら www.mintuku.jp/chokinbako ※事前相談が必要なため、9月中旬ごろまでにはご相談ください 9月4日に岡山市内にて説明会を開催します。 みんつく応援基金にて みんつくの運営をご支援ください!

> 当財団はみなさまからの寄付で 運営を行っている財団です。

地域が抱える課題の解決を 進めることができるよう 皆様の寄付による参加を どうぞよろしくお願いいたします。

詳しい情報はこちら www.mintuku.jp/unei_kifu

1. 事業指定寄付とは?

事業実現を応援するための資金提供になります。融資 や投資ではありませんので、金銭的な見返りはありま せんが、応援する事業によっては、事業成果物などを 提供させていただきます。また、事業の所有権は提案 者にあります。資金提案者は事業実施の応援者となり ます。

3. 目標金額に達さなかった場合は どうなりますか?

集まった金額で助成(資金提供)を行います。(当法人の運営経費5%+システム利用料を差し引いた額)提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

5. 目標金額はどのようにして 決まっていますか?

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料(助成額の5%+システム利用時はシステム利用料)を加えたものになっています。

お問い合わせ先



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

〒700-0807

岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ2階 TEL 086-206-2195 FAX 086-899-6329 E-mail info@mintuku.jp URL http://mintuku.jp/

【受付時間】祝日を除く

月曜日~金曜日 10:00~17:00

2. 領収書の発行はどうなりますか?

現金及び郵便振替でご寄付いただいた場合は、現金受取時もしくは受付期間終了後に当法人より領収書を発行させていただきます。motion gallery (モーションギャラリー)のサイトより手続きいただいた場合は、原則として領収書の発行は致しませんので、振込記録やクレジット決裁の記録を保管ください。

4. 逆に、期間内に目標金額を超えたら どうなりますか?

目標額を超えて集まった金額も含め、助成し、提案事業の 発展に活用していただきます。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

6. 「みんなでつくる財団おかやま」って どんな財団ですか?

岡山県内の約 100 名の若者による "呼びかけ人" が中心となり、広く市民に基本財産の寄付を呼び掛け、530 名より集まった 4,133,000 円を基本財産として設立された財団法人です。

地域に、既に取り組みをしている人、したい人はたくさんいます。その人たちの勇気(活動)をみんなで応援し、未来の希望に変えていきたい。そのために、地域の持っているポテンシャル(人・モノ・お金・情報などの資源)を「つなぎ、つたえ、シェア」していくことが重要だと考えています。

関わりやすい環境をつくり、参加者を増やし、みんなが地域の当事者になり、社会を変えていく。

社会を変えるということ。それは自分の環境を自分の望む 形にデザインすること。「つなぐ、つたえる、シェアをする」 を実践し、地域のあらゆる主体が公益を担い合う社会。当 事者の意識と存在を大切にした、安心で持続可能な地域社 会の実現を目指して、活動していきます。